



企画展

光太郎と花巻電鉄



デハ
3

平成
30年

7月4日(土)から
11月9日(月)まで

高村光太郎記念館

晴、暑 太田村山口行、朝飯盒にて弁当炊き、八時四十分校長先生同道花巻駅より。
 信二郎、清二君落合う。二ツ堰下車徒歩五十分。午後勝治君の案内にて地所検分、選定。
 (中略)五時十二分二ツ堰よりかえる。

(昭和二十年八月二十一日の日記より抜粋)



(行發館真寫屋田藤) 所留停車電泉温深大縣手岩

大沢温泉駅に停車する貨車を連結したデハ5 (昭和初期撮影)

彫刻家で詩人としても知られる高村光太郎。戦火で東京のアトリエを失い、花巻へ疎開した後、太田村山口（現 花巻市太田）の山小屋（現 高村山荘）で7年間の山居生活を送りました。

光太郎が市街地へ日用品の買い出しや、静養先だった温泉への移動手段としていたのは、東北各地の都市に先駆けて大正初期から電車を運行していた『花巻電鉄』でした。

都会育ちの光太郎にとって、山での暮らしは東京とは比べようが無いほど不便でしたが、山をおりれば路面電車で市街へ移動できる、『田舎』と『都会』が絶妙に隣り合う環境であったと言えるでしょう。

この企画展では、光太郎にゆかりある市内各所を資料やエピソードを交えて紹介しながら、それらを花巻電鉄が結ぶ情景を温かみあるジオラマで展示します。

高村光太郎記念館

〒025-0037 岩手県花巻市太田3-85-1 ☎0198-28-3012
 開館 午前8時30分 閉館 午後4時30分 休館日 12月28日～1月3日

高村山荘・高村光太郎記念館 入場料

一般 550円／高校生・学生 400円／小・中学生 300円

※団体入場(20名以上)は上記から一人あたり100円割引

